

匠の技通信<7月号>

皆様いかがお過ごしでしょうか、今大変な世の中になってきています。我々も立ち遅れないように色々考え、少しでも皆様のお役に立てればと思い、
 21年7月から、**匠の技通信**としまして、簡単な新聞を発行します。
 今時情報が散乱する中で、邪魔かも知れませんが、ヒマなとき読んで見て下さい



* 棟梁のフログ (HPの中にあります) で、おなじみですがやっぱり大工仕事の中で一番難しいのは**けずりモノ**！最近めっきり減った仕事の1つです。

私より年下でこの仕事をしている人は見た事がありません。機械けずりより格段にツヤが違うのはあたり前ですが、大黒柱の意味、桧、ケヤキなど材質の見分け方、カンナの研ぎ方、台の調子、その日の天候などを考慮しながらけずります。これぞ究極の匠！と私は思います。

by大森



* フレカット工法 (機械で刻む工法) も進化し中々捨てた物でも有りませんが、一代に一度のマイホーム地棟 (松丸太) を使って、ねばりのある家作りをめざします。

by山下



*こんなに大きくなりました。

山下あかり
情 (じょう)



* この4月から大工見習いで、来てくれました北川賢一です。若干22歳のもちろん独身！少し小柄で職人には、もってこい？

趣味は、サーフィン。どうりで顔は赤黒い？一人前になってバリバリ仕事してくれる日が楽しみです。

* 三人体制でこれからも、頑張っていくと思います。昔の職人技と言われた仕事は減りましたが、若い人たちの意見も採り入れ新しい事にも、挑戦して行きたいと思います